

建設部
建設デザイン政策課
直通 055-934-4811

職員採用改革の成果報告

本市では、市長指示のもと、令和5年度に若手職員を中心とした「沼津市役所新時代創造プロジェクト」を設置し、職員採用改革に取り組んできました。

■ 概要

近年、全国的に技術職員の人材を確保することが困難となっている中、本市においても同様に受験者確保に苦慮していました。

そのため、令和4年度より庁内部署から横断的に取り組むチームとして**職員採用プロジェクトチーム**を立ち上げ、令和5年度からは「沼津市役所新時代創造プロジェクト」において、採用活動の方向性を定め、学校との関係性も構築するなど、より本格的な技術職員の確保に向けた「**職員採用改革**」の取り組みを進めてきました。

また、令和6年度に「建設デザイン政策課」を設置し、プロジェクトチームの活動を引き継ぎ、技術職員の採用・育成活動に取り組んでいます。

その結果、**申込者数の増加**や**採用人数の確保**の成果が得られています。

- 職員採用改革について（資料1）
- 採用試験状況（資料2）
- 令和7年度の採用活動（資料3）
- 令和7年度の育成活動（資料4）

● 採用試験（技術）

採用活動前と比較して

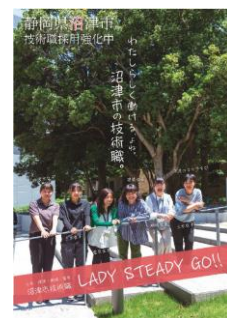
倍率 **3** 倍！

■ 問合せ等

建設部 建設デザイン政策課

TEL 055-934-4811

● 訪問先に応じたチラシ作成



職員採用改革について

近年、全国的に技術職員の人材を確保することが困難となっている中、本市においても同様に受験者確保に苦慮していました。

そのため、令和4年度より庁内部署から横断的に取り組むチームとして職員採用プロジェクトチームを立ち上げ、令和5年度からは「沼津市役所新時代創造プロジェクト」において、採用活動の方向性を定め、学校との関係性も構築するなど、より本格的な技術職員の確保に向けた「職員採用改革」の取り組みを進めてきました。

また、令和6年度に「建設デザイン政策課」を設置し、プロジェクトチームの活動を引き継ぎ、技術職員の採用・育成活動に取り組んでいます。

▶ 申込者数の増加や採用人数の確保の成果が得られています。

職員採用改革

資料 2

採用試験状況

● 採用活動前

| | 募集定員 | 申込者数 | 倍率 | 採用人数 |
|--------|------|------|------|------|
| R 3 年度 | 13名 | 17名 | 1.3倍 | 3名 |
| R 4 年度 | 16名 | 18名 | 1.1倍 | 4名 |
| 合計 | 29名 | 35名 | 1.2倍 | 7名 |

募集定員を大幅に下回っていた

● 採用活動開始後

(令和 8 年 3 月末現在)

| | 募集定員 | 申込者数 | 倍率 | 採用人数 |
|-----------------------|------|------|------|------|
| R 4 年度 (追加試験) | 12名 | 39名 | 3.3倍 | 9名 |
| R 5 年度 (追加試験含む) | 12名 | 57名 | 4.8倍 | 16名 |
| R 6 年度 (追加試験含む) | 14名 | 42名 | 3.0倍 | 12名 |
| R 7 年度 (追加・通年試験含む) | 11名 | 39名 | 3.6倍 | 12名 |
| 合計 | 49名 | 177名 | 3.6倍 | 49名 |

募集定員を確保

倍率 **3** 倍!

令和7年度の採用活動

① 訪問先（ターゲット）に応じた、チラシ作成

日本大学ver. / 沼津工業ver. / 女性技術職ver. / 建築職ver. / の4パターン

② 特別授業でのPR活動

静岡県立工科短期大学 沼津工業高等専門学校
沼津工業高等学校 伊豆総合高等学校

③ インターンシップの受入れ拡充

受入れ期間：R7.8.4～9.18

受入れ人数：38人（対前年比1.4倍）

④ 新規訪問先の開拓

伊豆総合高等学校（建築）



沼津工業高等学校
（建築科2年生）



インターンシップ
（現地視察）

職員採用改革

資料 4

令和7年度の育成活動

① 新規採用職員アンケート（対象者12名）

内容：公務員の志望動機、入庁前・後に感じたことなど

② 10代～30代の技術職員アンケート（対象者84名）

内容：職場環境に関すること、職場の心理的安全性や仕事量など

③ 技術職の係長級アンケート（対象者10名）

内容：若手職員の知識向上に関すること、測量、設計、工事監理、土木全般など



職員講師による測量研修

- 志望動機として保護者の影響が強い実態を受け、**高校生の特別授業で保護者参加型の公務員講座**を導入（生徒は現場見学＋公務員講座を実施）
- 30代までの若手技術職員には、職場環境や心理的安全性などに関する調査を匿名で実施し、結果を所属長らへ共有して**職場環境への改善に活用**
- 係長級の技術職員には、若手技術職員の苦手分野を把握するための調査を実施し、**職員講師による庁内研修**を実施

アンケート結果
を踏まえて